

学院通信 第291号

マスクなし！解放感あふれる毎日！

日本でも度々ニュースになっている海外での脱マスクの動き。ここ立教英国学院も、今学期から学内でのマスク着用義務がなくなりました。日々の手洗い、うがいの指導は引き続き行ないますが、マスクをする・しないは個人の判断に任せます。みんな最初は、まわりの様子をうかがいながら慎重な様子でしたが、後半はほぼ全員がマスクを外し、完全にコロナ前の立教の姿に戻っていました。

「マスク外すと全然顔がちがう～！」 「やっぱり相手の顔が見れるっていいね！」

今の生徒は、約5分の4がコロナが始まってからの入学者です。“ありがとう”も“ごめんなさい”も、表情があるだけで何十倍も気持ちがこもります。顔と顔でやりとりするコミュニケーションの良さを強く感じる2学期となりました。

Contents...

- | | | | |
|----------------------------|-------------------|-------------|---------------|
| * スクールアウティング | * オープンデイ | * フライデースポーツ | * クロスカントリーリレー |
| * 全校写真 & 生徒会主催50周年ドローン記念撮影 | * 50周年記念コンサート | * ミニアウティング | |
| * 現地校交流 | * Christmas Party | * キャロリング | * 第2学期終業礼拝 |



Christmas Message From Headmaster

This year we celebrated the 50th Anniversary of Rikkyo School in England which marks an important milestone for us.

To honour the occasion, the School hosted an Anniversary Ceremony on 9th July and also a concert at Southbank Centre's Queen Elizabeth Hall in London on 5th November. I would like to thank all the teachers and students for their hard work and commitment in putting on such fantastic events and celebrating our School and all its achievements.

This is my 4th year as Headmaster at the School and I am pleased to say that this year has proved to be less challenging than the last two years as, thanks to the Covid vaccines and less government restrictions, the School has been operating normally with 196 students receiving their education on site.

I am extremely grateful to everyone for their dedication and support in keeping the School running smoothly throughout such difficult times.

This year commemorated Queen Elizabeth II's Platinum Jubilee. The School got behind the celebrations to mark this historic occasion. It was then with great sadness that we learned of Her Majesty's passing in September. The Queen was highly thought of by the people of Japan and everyone at the School took some time to reflect on her legacy, her dedication and loyal service to her subjects throughout her reign.

The Cherry Blossom viewing at the end of March was a fantastic experience for local people who enjoyed an authentic Japanese lunch box under the falling petals.

Unfortunately, we were unable to hold our annual Japanese Evening this year, but we hope to invite members of the local community and pupils from other schools back to Rikkyo for this popular event next May.

During the course of this year the students enjoyed school outings to Cambridge, Oxford, Hampton Court Palace and Portsmouth Historic Dockyard and enjoyed shows in London's West End.

During the autumn term we held Friday sports activities and also arranged various sports fixtures with other schools, such as a Cross Country Relay towards the end of October. It has been great for our students to engage with other schools and clubs again.

Further, the students have an interest in collaborating with neighbouring schools to have experience of wheelchair sports and play wheelchair basketball and the School currently has 12 wheelchairs for sports.

We were very pleased to be able to welcome visitors to the School once again for our Open Day which was held on 16th October. The theme was "No Limits, but Spirits!". There was a good attendance by parents, friends and the local community. The students enthusiastically decorated their classrooms with various topics such Space, Japanese Culture and Flower Arranging. Guests also enjoyed a Kendo demonstration, traditional Japanese Tea Ceremony and a concert.

At the end of term the students were able to revive the tradition of the annual carol concert at Elmbridge Retirement Village following the Covid pandemic to put us all in the festive spirit.

Collyer's College, Horsham - The School continues to develop its links with Collyer's College and this year H1 and H2 students had online nutrition lessons with Collyer's whilst six H2 students stayed at Collyer's during the September term (3 months) to have a great experience of Sixth Form College life.

Dartford Grammar School - Middle School students have enjoyed exchanges between the two schools. Their students enjoyed Japanese culture such as Kendo and a Tea Ceremony and our students enjoyed British lessons and cricket.

Royal Grammar School, Guildford - Our partnership with the Royal Grammar School continues to develop further. This year, robotics activities with RGS brilliantly work together to make robots which should solve current problems in daily life. Our students visited the Robotic Research Centre at Oxford University organised by RGS graduates.

Homestay - Please do contact us as we are always looking for new relationships and exchanges with local schools and people.

I would like to thank you for your support throughout the year and best wishes for a Merry Christmas and a Happy New Year from all at Rikkyo School.

TORU OKANO
Headmaster



December 2022



9月30日に、2学期最初のPMでのアウティングで「Portsmouth」に行きました。学校からPortsmouthまでは、バスで1時間30分かかりました。

まず、Portsmouthの小さなショッピングモールに行きました。前回のアウティングでは、ショッピングをすることが出来なかったので、今回は買い物をする事が出来て嬉しかったです。友達とお揃いの物やクリスマスカード、家族へのお土産などを買いました。

次に、「Historic Dockyard」という場所に行きました。

Portsmouthは、元々海軍がある場所として有名な場所です。ここでは、昔実際に使われていた船に乗り、船の中を散策することが出来たり、昔沈没した船を博物館で見たりすることが出来ました。勉強になったと思います。

今回のアウティングでは、イギリスの歴史に触れたり、ショッピングでは班行動で、仲間と良いコミュニケーションをとったりすることが出来ました。そのため、とてもいい経験が出来たと思います。

楽しいアウティングでした！



(中学部1年生 広報委員)



スクール アウティング





やってきました、アウティング！

1学期のアウティングは、参加出来なかった生徒もいましたが、今回のアウティングは全員参加という形で行うことが出来ました。

行き先はケンブリッジ大学。イギリスの大学都市に位置する伝統的な大学です。2時間半という長旅を終え、いよいよケンブリッジに到着！

はじめに大学見学というわけではなく、まずはレストランで、アフタヌーンティーを楽しみました。私は、スコーンとクロテッドクリームの相性の良さにとても驚きました！とても優雅な時間を過ごすことが出来たと思います。

アフタヌーンティーで身体を温めた後は、いよいよケンブリッジ大学見学スタート！建物内に入ることは出来なかったのですが、各グループ、ガイドさんの案内ののもと、大学内を色々と回りました。

私が中でも心に残ってるのは、今、高1はちょうどDNAの単元を勉強している最中なのですが、DNAを発見したことで有名なワトソンとクリックがかつて通っていたパブが今なお残っていて、実際にそこに行くことができたことです。

大学見学の後は、街の中心部を流れるケム川でパンティングをしました。天候は雨模様で、大変冷え込みましたが、ケンブリッジにあるほとんどのカレッジや、普段見ることの出来ない大学の学生寮を見て回れたので、とても良い経験になりました。

自由時間では、各自お土産を買ったり、美味しい夕食を食べたりして、有意義な時間を過ごしました。ちなみに私の班では、うどんやお寿司など色々なお店をはしごしたのですが、久しぶりの本格的な日本食に、みんな感動していました。

あっという間の一日でしたが、心に残る、とても良い思い出になりました。今後は、オープンデーに向け忙しくなることが増えると思いますが、これからも高1総勢51人と共に、思い出を増やしていくなら良いなと思います！



(高等部1年生 広報委員)

高校2年生の今学期のアウティングは学都オックスフォード訪問でした。

先週はロンドンのUCL大学を訪れ、イギリスの大学を実体験し、たくさんの刺激を受けたばかりですが、その思いが冷めやらぬうちに、再びイギリスを代表する学都を訪れることが出来たのは幸いでした。

天気予報は生憎「午後から雨」でしたが、学校を出発する時は秋の寒空ながら気持ちのいい天気で、お昼前にオックスフォードについてからも数時間は穏やかな曇り空のもと街散策・買い物・昼食を満喫できました。

「タイ料理のお店でなんか知らないけど褒められちゃいましたー！」「ラーメン、食べられましたよ！」…etc. 昼食後の点呼時間にはそれぞれのグループの楽しそうな報告を聞き、雨が降る前に記念撮影も出来ました。

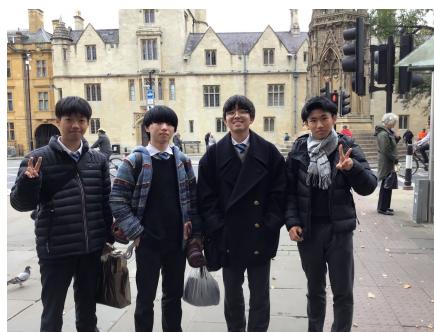
そして15時からのガイドツアーが始まる30分ほど前から、待っていました？！とばかりにポツポツと雨が降り始め、ツアーが始まる頃には風も強くなる状況。それでも生徒たちは傘を手に手に、しっかりとイギリス人ガイドさんの後に付きながら、随所随所で立ち止まり、オックスフォード大学の歴史、建物や人物にまつわるエピソードなど様々な話を聞くことが出来ました。

今回のガイドさんは、この大学の卒業生で知識も豊富、そして何よりもわかり易い英語だったので、雨風にもめげずに興味深く話を聞くことが出来ました。中には、移動中にガイドさんと一緒に歩きながら色々と質問をしている生徒もいて、イギリスの大学への関心度をうかがい知ることが出来ました。

「寒かったけれど1時間もよく頑張りましたね。私もとっても楽しかったですよ。この後はどうぞホットチョコレートでも飲んで体を温めてくださいね。」

そんな優しいガイドさんの言葉に「Thank you!」で答えた後は、再び班ごとに分かれ、ホットチョコレートと夕食をとりに三々五々、まだ小雨の降る街にグループごとに向かっていきました。

生憎の雨模様でしたが、イギリスらしい街、イギリスらしい学都、そしてイギリスらしい天気を満喫できたアウティングでした。



今学期の
スクールアウティング
の様子を含めた
動画はこちら👉

- PM ... Portsmouth
- H1 ... Cambridge
- H2 ... Oxford
- H3 ... London



突き抜ける青空の下、2022年度 オープンデイが開幕しました。

今年度は、入場制限なく、地元のお客様もお招きして、本来の形でオープンデイを行うことができました。

オンライン開催時に培った「伝えることの大切さ」のノウハウを活かし、新たな形のオープンデイを創造すべく、生徒会を中心として、各クラス、フリープロジェクトが展示・発表を行いました。

後夜祭と後片付けの後は、目玉のひとつである各部門の表彰。

今年の校長賞は、なんと**「会計係」**が受賞しました。✨

ここ数年のコロナの影響もあり、経験の蓄積がないなか、大変な思いもたくさんしました。それでも、新しい方法を模索し、実行することをやめなかった彼らに対して、校長先生から労いの言葉と共に賞状が授与されました。

こうして無事オープンデイを終えることができたのも、会計係が奮闘してくれたおかげです。

来年はどんなオープンデイになるのでしょうか。お楽しみに。



Open Day



Open Day Photo Report



剣道の
パフォーマンスで
汗びっしょり



BACK TO THE
RIKKYO! 🚗



「和菓子残り
わずかで～す！」



Tik Tokで
話題の
チグハグ！



福引特賞
iPad Pro
ゲット！ ✨



オーブンデイの様子を
含めた動画は
👉こちら



Student's Essay < Open Day >

「ドン、ドン、ドン」釘を打つ音。僕は暑い中、木製の土台を外で打った。

オープンディの準備期間は射的の準備をしました。まずはゴム鉄砲を作ろうと思ったけれど、割り箸とゴムはまだ注文中でした。早く作ってみたかったからちょっと残念でした。だから、代わりに的を置く土台を作りました。3日後には割り箸とゴムが届きました。どの銃がいいのかユーチューブでずっと調べていましたのでとてもいいものがでけて嬉しくなりました。射的の作成が終わると、次は背景の製作にいきました。残り数日で出来上がるのか心配でしたが、みんなと頑張ったら終わりました。

迎えたオープンデー当日。開始時刻の10時になつたらたくさん人が来て、シフトが入っていないのに接客をしました。11時になるとラップフルが開くので、並んでずっと待っていました。A賞がほしかったけど当たらなかったです。その後は、お菓子が食べたかったのでバザーに行きました。お菓子の中で一番好きな男梅シートを貰えてよかったです。すごく嬉しかったです。その後は、友達とカレーと焼鳥を食べました。焼き鳥は味が濃くて美味しかったです。また食べたくななりました。13時。シフトの時間になりました。最初は緊張していました。けれど、だんだん緊張がほぐれてきました。緊張した最初のオープンディはうまくいきました。

その後夜に後夜祭がありました。一番すごかったのは「ダブルダッチ」です。I先輩のやつがすごかったです。僕も将来パフォーマンスをしたいです。



(小学部6年生 男子)

[【他の作文へリンク】](#)

オープンデー当日はまさにジェットコースターのような緊張感でした。

オープンデー当日に向けて展示物やフリープロジェクトなどの準備ができるのは一週間です。小学生の展示物の題名は、「スポーツ」でした。僕は、6年生の子と一緒に剣道のフリープロジェクトにも出ました。

教室に飾る「背景」は、最後の2日で終わらせました。みんなで協力し合った結果、最高の背景ができました。僕は、的当て係でした。2日でほぼ完成してしまったので、少し遊んでしまったところもありましたが、余った時間は、色々飾り付けをしました。飾りのテーマは、「ロンドンのアイコン」です。ロンドンアーカイブや赤い2階建てバスなど色々ありました。ペアだった子は、絵がとっても上手です。なので、イラストを書いてもらいました。僕は色塗りをしました。小学部のどこよりも良いものができたと思いました。

オープンデー当日、「剣道」の本番は11時からありました。「形」を少し間違えてしましましたがなんとか乗り越えました。これもチームワークだと思います。

僕のクラス展示のシフトの時間は、2時から3時でした。結構お客さんが、来てくれました。嬉しかったです。小さい子から卒業生の方々など色々な人が来てくれました。外国の方でもお話をできました。イギリスに住んでみたくなりました。

みんな笑顔で帰ってくださいました。一週間頑張ったかいがあったと実感できました。

(小学部5年生 男子)

[小中学部](#) [高等部](#)



Student's Essay << Open Day >>

高校2年生、最後のクラス展示！

クラス展示ができる最後のオープンデイが先日幕を閉じました。今回のオープンデイは前回に比べてものすごく忙しかったけれど、振り返るとみんな良く頑張ったと思える最高のオープンデイでした。最初は最高学年ゆえに下級生には負けたくないという思いがある中で、高校2年生は学期留学や、係、フリープロジェクトなどでリーダーとして先導しなければならなかったため、クラス展示に携わる人数が少なくて少しの不安がありました。しかし準備期間中の私たちにはそんなことは全く関係なく、一人ひとりが自らの役割に集中し、みんなで意見を出し合ったり一生懸命考えたりと、良いクラス展示を作るためにみんなが試行錯誤し、熱中していたと思います。人それぞれ得意不得意があるので、今回のオープンデイ賞をもらうにあたって、誰一人欠けてはならなかったのだと実感しました。特に、クラスを指揮してくれた学級委員長なしでは、ここまでみんなが必死になることもなかったかもしれません。自身は係での活動もあるにも関わらず、学級委員として一人ひとりのことを見て回ってくれて、進行状況の確認や次にやるべきことの指示やアドバイス等を積極的に行ってくれました。

オープンデイ当日は、保護者の方や、近隣の外国人の方々も私たちのクラスに入ってくれました。良く頑張ったね！と褒めてくださったり、感動して涙を流す親御さんたちもいてとても嬉しかったし、外国人の人々に日本のガチャガチャやプリクラのことなどを間近で説明することができて、とても満足感に満たされました。思った以上に外国人のお客さんが入ってきてくれて、日本の青春文化に興味を持つていただけたので、最後まで頑張って良かったなと思いました。

今回で私たちのクラス展示としては最後のオープンデイでしたが、他学年の展示もとても素晴らしいです。特に中学3年生や高校1年生はクオリティがものすごく高くて、正直負けるのではないかと思うほどに素晴らしいかったです。来年はどのような展示があるのか、どのクラスがオープンデイ賞を獲得するのか、とても楽しみです。



(高等部2年生 女子)

オープンデイ

最後のオープンデイは難しさ5割、楽しさ5割でした。今までの行事は基本楽しい楽しいで終わるものばかりでした。しかし、今回のオープンデイは本当に大変な船旅だったと思います。

自分はオープンデイ準備期間が始まる前から動画を撮り始めて準備期間1日目に編集を完了していました。どうやって青春という文化がない国の人々に青春を届けるかというのはとても工夫したし、意見がぶつかることもあって容易に終わるものではありませんでした。準備期間も半ばに来るとみんなのフラストレーションが溜まってきているのを感じました。どうやったらいいものを作るかより、どうやったらサボれるかを考えている人も出てきていました。いつも仲のいい友達だけど、いいものを作るために強い言葉を投げかけることもあります。普段の授業よりも疲労も来ていました。けれど、自分は大好きな仲間と絶対優勝したかったし、オープンデイに来てくれたたくさんの人に青春という文化でありエンタメを楽しんでもらいたいという気持ちが強くありました。

僕の中でお客様賞とオープンデイ賞、そしてインラクティブボード賞をもらえたのは今までの疲労が吹き飛ぶくらい嬉しかったです。最高の仲間と最高の期間を過ごせたこの濃い1週間が何よりも嬉しい青春だったのかなと今更感じてきました。今週末はギターコンサートです。もう一度最高の仲間と僕達の作品、エンターテイメントを完成させたいと思います。

青春は永遠に。

(高等部2年生 男子)



【他の作文へリンク】 [小中学部](#) [高等部](#)

新種目登場！☆

フライデー スポーツ



曇りや雨の日が多くなるイギリスの2学期。

しかし、今学期の金曜日の午後は、雨が降った日はなんとゼロ！

しかも今学期からは、フライデースポーツの新種目

『Adventure Sports Program』と『ZUMBA』が登場！

各種目の概要とその様子を写真と動画でお届けします。



『Adventure Sports Program』

地元、Surrey 地区の雄大な自然を全身で味わうアドベンチャー種目で、パドルボードやアーチェリー、オリエンテーリングなど、チャレンジする種目も様々。イギリスらしい大自然の中を、自分の五感・感覚をいかして、仲間と一緒にチームビルディングしながら楽しむ種目です。

『ZUMBA』

ポップス調の曲からラテン系の曲まで、幅広い曲調に合わせて約1時間ノンストップで身体を動かし続けるダンスエクササイズ♪

楽しい雰囲気とノリノリの音楽に、前を通り過ぎる生徒や先生も思わずダンスしてしまうほど。

動きを覚えるダンスとは異なり、その一瞬一瞬を楽しむ事ができ、まるでパーティーにいるような感覚で年齢、性別問わず楽しめる種目です。



オープンデーの余韻が残る10月20日、立教英国学院構内であるイベントが開催された。立教英国学院の創立50周年を記念するRikkyo School 50th Anniversary Cross-Country Relayだ。

この記事を読んでくれている方は、そもそも『クロスカントリー』という競技をご存知だろうか。人の手がほとんど入っていない不整地を主たるコースとし、時に丘を越え、時に泥地を駆けながらゴールを目指す長距離走種目、それがクロスカントリーだ。

当日は近隣の学校を数校招き、男女それぞれ4つのエイジグループに分かれて競技が行われ、本校からは総勢50名が参加した。今回は3人で1チームを作り、リレー形式で争われた。

午後からの競技であったが、午前中は英国の秋らしいどんよりとした雲から雨が滴り落ちていた。しかし昼食を終え、出陣と時を同じくして澄んだ青空が顔を覗かせ、清々しい秋晴れが記念すべき第1回大会を祝してくれているようだった。午後2時の号砲に始まり、それぞれのカテゴリーで抜きつ抜かれつの目まぐるしいレースが展開された。応援にも自然と力が入り、それに触発された出場生徒も、顔を強ばらせながらゴールを目指していた。その姿は本当に一言、「カッコよかった。」

全競技が終わり、各カテゴリー1位のチームにメダルが授与された。プレゼンターはなんと、世界選手権1500mチャンピオンのJake Wightman選手。本校のホームページやInstagramでもたびたび紹介している、正真正銘、世界1の選手だ。実は、この大会の企画に全面的に協力してくれたのが、Jake選手のお母さんであるSusanさんであり、本大会にJakeをスペシャルゲストとして招き、メダルプレゼンターを務めてくれるというなんとも夢のような話が実現したのだ。また、彼の父・Geoffさんも今大会のアナウンサーとして協力をしてくれていたのだが、Geoffさん自身も現役時代は英国を代表するランナーであり、今ではJake選手のコーチに加え、世界選手権の実況を担当するなど、こちらもスペシャルすぎるキャスティングであったのだ。

言わずもがな、生徒たちは大興奮。閉会式が終わると、我先にとサインや写真を求める長蛇の列がJake選手の前にできていた。それに対し、1人1人丁寧に応じてくれていたのが、流石一流のアスリートの姿であった。生徒たちよ、もらったサイン、大事にしなさいね。

兎にも角にも、オープンデー直後、準備も満足にできなかった中で成功裡に幕を閉じたと思えるのは、生徒たちが楽しんでくれたと感じられたからだ。

Rikkyo School 50th Anniversary Cross-Country Relayが多くの中の生徒の心に残るものとなってくれれば有難い。

See you next year.

クロスカントリー リレー



4th October

全校写真



- 生徒会主催50周年ドローン記念撮影 -



1年に1度の全校写真。全校生徒、教職員、総勢200名を超す集合写真のパノラマ撮影が今年度も行われました。

カメラマンのおじさんのユニークなかけ声もあって、緊張した表情もほころび、とても良い写真が撮れました。

さて、授業に戻りますか…と思いきや、今年はいつもと少し違います。

創立50周年ということで、今回はいつもの写真撮影だけでなく、生徒会が企画した上空からのドローン撮影も行いました。

生徒会のメンバーと有志の生徒とで、ドローンの試験飛行やライン引きなど、準備を重ねてくれていました。

陸上トラックに集合し、『50th』のラインに沿って全員が立ち、ドローンに向かって手を振ります。

「ドローンどこ?」「あそこあそこ!」「めっちゃ上にあるね!」

どうかみんなの思い出に残る写真でありますように。

創立50周年記念コンサート

@ London Queen Elizabeth Hall



本校では5年の節目毎に創立記念コンサートを開催しています。創立50周年を迎える今年度はロンドンにあるQueen Elizabeth Hallにて行われました。

演奏者や裏方としてサポートする生徒は、普段よりも1時間早く起きて出発。受付やお花の制作、YouTubeの配信準備など、余念がありません。

1,000名近くの収容人数を誇るロンドン屈指の大ホールには、ロンドン在住の保護者の皆様はもちろん、遠方からはるばるいらっしゃった保護者の皆様や卒業生など多くの方々が訪れました。

また地元ラジウィック村の方々も本校全校生徒と一緒に4台の大型バスに分乗して会場に到着しました。

この日は生憎の雨模様でしたが、一度ホールに入るとそこは別世界。数日前に学校で行われたリハーサルステージの数倍もあるような大舞台で、堂々とした素晴らしい演奏が繰り広げられました。

和太鼓感覚のパーカッションの演奏から始まり、コーラスや独唱、ピアノ演奏はもちろん、チェロやクラリネット、バイオリンの独奏など盛りだくさんのプログラムでした。

演奏は本校在校生の他にも、ロンドンで音楽活動をしている卒業生や地元連携校Collyer's Collegeの生徒たちも加わり、創立50周年を記念するのにふさわしいコンサートになりました。



今学期のミニアウティングの行き先はWimbledon(ウィンブルドン)でした。ウィンブルドンと言えばテニスです。今年は全英オープンに行くことができなかつたので、ワクワクドキドキでした。

ウィンブルドンまではバスと電車に乗りました。みんなで写真を撮ったりゲームをしたりしました。やっぱり友達と笑うことほど楽しいものはないなと思いました。

そして、無事ウィンブルドンにつきました。まずはオイスターカードという、日本で言うSuicaのようなICカードを買いました。バスでピッとはお金が払える便利で良いカードです。

カードを買ってからは、お昼ご飯まで少し時間があったので、スーパーマーケットのMorrisons(モリソンズ)に行きました。モリソンズでは、コーラ目当てに行きましたが、ゼロコーラなどの種類は沢山あったのに普通のコーラがなくて少し萎えました。

昼食はBill'sに行きました。外見がすごくオシャレでした。僕は、バーガーとコーラを頼みました。バーガーはチーズがとろとろ溢れて、ベーコンもカリカリで、言葉では表現できないくらい美味しいかったです。

その後ロンドンバスに乗り、ウィンブルドンミュージアムに着きました。思った1000倍、会場は大きくてびっくりしました。最初はミュージアムをまわりました。英語はわからなかつたけど、昔のラケットや優勝トロフィーを間近で見ることができました。トロフィーの一番上にはパイナップルが乗っています。これは昔、イギリスでは、パイナップルを育てるのが難しくて、お祝いのときにいつも食べられていたからだそうです。生で見ることができてよかったです。他にもゲームがあつたので楽しみました。

その後のショッピングでは、運が良いことにセール中で、服が安く買えました。神様ありがとうございます。

みんなで約束してたおそろいの服を買うという約束は、セールのおかげで叶いました。

最後は、ウィンブルドンの会場をまわるツアーに参加しました。

No.1コートやセンターコートを見る事ができました。

ガイドの人の英語はほとんどわからなかつたけど、コートは、日光が照り輝いていてきれいででした。

今回のアウティングは、昼食も美味しくて、ショッピングも楽しかったです。コートもとてもきれいででした。

だけど一つ悔しかつことがあります。

ガイドのおじさんの言葉だったりミュージアムの言葉だったり英語がわからなかつたことです。

今度来るときは英語をマスターして、もう一度リベンジしたいです。

だけどみんなで心の底から思いっきり笑えたことが、一番の乐しかつたことです！



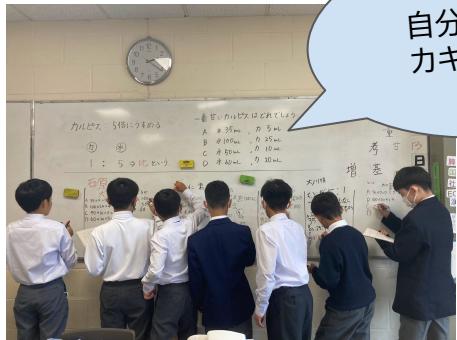
(小学部6年生 広報委員)

小学部外出

- ミニアウティング -



Primary Photo Report





先学期に立教を訪問してくれたDartford Grammar School (DGS)。今学期は立教生がDGSを訪れ、交流をもちました。

まずはお互いの自己紹介から始まり、クイズ大会やピアノの演奏を聞きました。その後はグループに分かれて、DGSの生徒のみなさんに学校を案内してもらいました。

昼食後はイギリスの国技でもあるクリケットをしました。日本では馴染みのない競技なので、ルールに戸惑っている立教生も多かったです。日本語と英語を織り交ぜながらコミュニケーションをとって楽しみました。



現地校交流

Dartford Grammar School



交流の様子を
含めた動画は
こちらから👉



Student's Essay << DGS Exchange >>

私はダートフォードグラマースクールという学校に行きました。coachで1時間半くらいかかりました。そして、先生や生徒が頑張って日本語で迎えてくれました。その後、班で学校の校舎をめぐりました。校舎内の色々な所にQRコードがあり、それを読み取り、クイズを解いていくということをしました。一緒に行動した人はみんな同じ年だったけれど、とても優しかったし、楽しかったです。

午後には、クリケットというスポーツをやりました。私は今までクリケットをやったことがなかったけれど、グループのみんなが色々教えてくれたのでとても楽しむことができました。クリケットは野球のようなもので、玉がバットに当たったときは「ナイス！」と声をかけてくれてとても嬉しかったです。

今回訪れた学校は男子校でとても緊張しましたが、みんなフレンドリーで積極的に日本語で話してくれたのが嬉しかったです。また、私たちに伝わらない言葉を、翻訳機を使ったり、ジェスチャーをしながら教えてくれたりと、何としても伝えようという姿勢にとても心を動かされました。

今、私は英語の勉強を頑張っています。そして、今回会った生徒たちは日本語の勉強を頑張っています。彼らと色々話してみて、英語を日常的に使っている人がとても伝わりやすい日本語をつかっていることにも驚いたし、憧れました。また、私と同じ年の人がペラペラと英語を話していて、とてもすごいなと思いました。今回、現地校を訪れてみて、私ももっと英語を話せるようになりたいなど強く思うようになりました。この学校訪問はとても良い経験になりました。

(中学部1年生 女子)



僕達はコーチに乗ってDartford Grammer Schoolに行きました。これまで、国際交流で現地校を訪れる能够のは中学1年生以上だったそうなので、僕たちにとってはとてもいいチャンスでした。到着すると、まずウェルカムドリンクとクッキーをもらい、先生やその生徒たちに自己紹介をしてもらいました。その後に、グラマースクールの生徒さんがとてもなめらかというか、耳に優しいピアノの演奏をしてくれました。そして、グループに分かれて学校ツアーがはじまりました。学校の説明を聞きながら、クイズをやったりしてその人たちと仲良くなりました。僕はヒューゴー、マイケル、ナイルと立教の友達と一緒にグループになりました。DGSは地理用の校舎や、理科用の校舎などに分かれています。学校全体がとても大きかったです。そして生徒はなんと1500人もいるそうです。そのうえ、僕が驚いたことは、日本語を話せる生徒が多いことです。他にも習字の授業をやってたり、日本の庭を作つたりしました。

お昼は、もっと年上の人たちとごはんを食べました。その日のメニューはドライカレーみたいなものとポークのブリトーでした。一緒にごはんを食べた人はとても優しく、日本語も上手でした。食事は立教の食べ物のほうが美味しいと思いました。最後に道路を渡つて、DGS for Girlsを通り、とても大きい運動場へ行きました。そこでは新しいチームメンバーたちと一緒にクリケットをしました。初めてでしたが、ボールができるだけすぐにパスしたり、後ろにある棒にボールが当たらないようにバットを振つたり、おもしろい経験でした。最後にみんなで集合写真を撮つて、お別れの挨拶をしてコーチに乗つて帰りました。今回のDGS訪問はとてもいい機会になりました。DGSの生徒さんは日本語や、日本の文化にくわしくなるための努力をしていて、とてもフレンドリー。そして校舎も大きくていい学校だと思いました。またDGSの人達が立教に来るのが楽しみです。

(中学部2年生 男子)



Christmas Party



今年もキッチン主催で少し早いクリスマスディナーをいただきました。前菜・メイン・デザートと、3コースの豪華な食事です。

鐘が鳴りホールに向かうと、生徒・スタッフで作成した個性あふれるジンジャーブレッドハウスがずらり。ジンジャーブレッドハウスとは、生姜ベースのクッキーでできた、いわゆるお菓子の家。グリム童話「ヘンゼルとグレーテル」でお菓子の家が登場したことにより、ヨーロッパでその人気が高まったと言われている、クリスマスには欠かせない存在です。

食前のお祈りの後、まずは「Merry Christmas ! 🎄」と、みんなでクラッカー引っ張ってお祝いをしました。日本ではあまり見かけないクラッカーの鳴らし方に、新入生は少しひっくりした様子です。

ちょっとびり大人な味のお魚のパテ。ローストターキーやピッグズ・イン・ブランケット。食べると1ヶ月幸せになれるというミンスパイ。そして、前回のパネットーネに代わり、今回はユールログケーキ(フランスでいうブッシュドノエル)と、イギリスの家庭で出てくる伝統的なクリスマスのメニューを思う存分堪能しました。



3年越しの
悲願

キャロリング



昨年、当日キャンセルとなってしまったキャロリング。2年連続の中止を経てこの度、悲願の開催となりました。🎄✨

期末試験が終わってから、夜の時間、礼拝後、出発の直前まで練習を重ね、いよいよ本番！

Covidによる入場人数の制限があり、2グループに分かれましたが、去年の先輩たちの思いも乗せて、それぞれが気持ちを込めて歌いました。





12月3日(土)終業礼挙が執り行われました。
多くの高校3年生にとっては、立教生活最後の日です。

二人の担任の先生からの愛あふれるメッセージには、多くの生徒が涙を流しました。

今の高校3年生は、高等部入学時は新型コロナウイルスの影響でオンラインでのスタート。

1年生のとき、直接顔を合わせたのはたったの3ヶ月。二度目のロックダウンで、3学期は再びオンラインへと戻ってしまいました。

しかし、そんな未曾有の大混乱の中でも、学ぶことはありました。

”楽しい”を何倍にもしてくれる仲間がそばにいること、”つらい”をはんぶんこしてくれる先生が近くにいること、そんな小さな当たり前が、実はとっても大きな幸せなんだということ。

高校3年生が一番強く感じていました。

目標をもって、次のステップへ。

何かあったら、いつでも帰っていらっしゃい。



-2022年度 第2学期- 終業礼挙



Official Instagram



↑ OPEN DAYで掲載したパンフレット

立教英國学院 Rikkyo School In England
学校
立教英國学院の公式アカウントです。四季の移り変わりをテーマに、立教英國学院の今を紹介していきます。
いただいた質問等はお答えしておりません。
www.rikkyo.co.uk/

立教英國学院公式Instagramは、広報委員会が中心となって投稿をしています。

今学期はオープンデイの準備期間を含めた約1週間の様子を、ストーリー機能を使ってお届けすることに挑戦！おかげさまでその期間中だけでフォロワーを50人増やすことができました！
(ストーリーをまとめたものは、ハイライトからご覧いただけます)

そして年内目標に掲げていたフォロワー1000人も見事達成！
学院通信には載せていない記事もありますので、ぜひご覧ください。そしてフォローもお願いします。

ハッシュタグは、
「#RikkyoSchoolinEngland」と「#立教英國学院」です！

オープンデイ準備期間 オフショット



Rikkyo School
In England

Official
Home
Page

www.rikkyo.co.uk

Information

ご意見・ご感想は[こちらへどうぞ。](#)

►►► publicrelations@rikkyo.co.uk